

1 研究主題

「楽しく学ぶ英語教育の創造」
～いきいきとコミュニケーションをとる子どもの姿を目指して～

2 研究の概要

(1) 研究設定の理由について

- 本校では、「心豊かで、確かな学力を身につけた、心身ともにたくましい子ども」という学校教育目標を設定している。このような児童を育成するために、県から2年間の委託を受け小中連携による英語教育の研究に取り組んできた。27年度からは、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、全学年に英語科を設定し英語を通じてコミュニケーション能力の素地を養う学習をしている。

(2) 研究テーマについて

- 中学校英語へのスムーズな接続を念頭において、児童の英語への興味・関心・意欲を高め、主体的に学習する態度を養うために、児童が楽しく学ぶ指導法、教材、カリキュラム等の追究を研究テーマとした。また、児童像としては、いきいきとコミュニケーションをとる子どもとした。相手意識を持って、進んで英語を使い、自分の気持ちや考えを表現し、相手の気持ちや考えを理解できる子どもを目指している。

(3) 研究の目的

- 児童の国際理解を含めたコミュニケーション能力を向上させる。
- 各学年の発達段階に応じた英語を使った表現力を向上させる。
- 児童が主体的に学ぶ態度を育成する。

(4) 研究仮説

- 英語教育において、小中が連携して指導方法やカリキュラム、学習環境などを工夫したり、積極的に交流の場を設けたりすることで、英語に関心を持ち、表現力豊かにいきいきとコミュニケーションをとる子どもを育てることができるであろう。

(5) 主な研究内容

- 英語の授業研究
 - ・小中連携による授業研究や教材開発、カリキュラム作成、交流活動の授業研究。
 - ・T・Tの指導体制と担任一人での指導体制の場合の授業研究。
 - ・小学校外国語活動における評価の在り方。
- 英語に慣れ親しむための実践研究
 - ・イングリッシュルームや掲示物の活用。
 - ・朝の帯時間（英語集会、イングリッシュタイム）の活用。
- 家庭学習習慣の研究
 - ・全校での自主学習の取組（家庭学習の進め方、習慣化）。

【学校教育目標】心豊かで、確かな学力を身につけた、心身ともにたくましい子ども

【研究主題】 楽しく学ぶ英語教育の創造

～いきいきとコミュニケーションをとる子どもの姿を目指して～

Smile

Eye Contact

Clear Voice

Gesture

Response

【研究仮説】

英語教育において、**小中が連携**して**指導法**や**カリキュラム**、**学習環境**などを工夫したり、積極的に**交流の場**を設けたりすることで、英語に関心を持ち、表現力豊かにいきいきとコミュニケーションをとる子どもを育てることができるであろう。

小中連携

全学年授業

○授業研究
○指導体制（TT、小中合同、ICT活用）
○カリキュラム
（低学年10時間、中学年20時間、高学年40時間）

朝の活動

○英語集会（年3回）
○イングリッシュタイム
（週3回）

交流学习

○サセボエレメンタリースクール
○ALT
○光海中学校

学 習 環 境

家庭学習習慣

学習規律

校内掲示

イングリッシュルーム
環境整備

アンケート調査

児 童 の 実 態